

千葉開府900年記念事業 推進計画（案）

～千葉一族からの学びを活かし、
未来へ向けたひとづくり、文化づくり～



2024年3月

1. 策定の趣旨

令和8(2026)年、千葉市(以下、「本市」という。)は、まちが開かれてから900年という大きな節目を迎えます。

始まりは平安時代後期にさかのぼります。大治元(1126)年の6月1日に、桓武天皇のひ孫高望王(たかもちおう)(後に平高望)の子孫、常重(つねしげ)が、現在の緑区大椎(おおじ)町から中央区亥鼻(いのはな)付近に本拠地を移し、初めて「千葉」と名乗り、ここに千葉のまちとしての歴史が始まったとされています。

常重の息子の常胤(つねたね)は、源頼朝を助け、鎌倉幕府の成立に大きく貢献しました。以降400年にわたり、千葉氏は下総の地を治めるとともに、常胤の息子たち(千葉六党)も全国各地に勢力を拡大し、地域の状況に応じた都市経営を通じて、人材や文化を育んできました。

大正10(1921)年、人口約3万4千人での市制施行後、本市では6月1日を「千葉開府の日」と位置づけ、50年ごとに記念事業を行ってきました。市制施行間もない大正15(1926)年の開府800年、戦後の経済成長と人口増加の只中の昭和51(1976)年の開府850年と、その時々時代の背景を踏まえつつ、市民がまちの歴史を振り返り、まちの未来について考える、まさに人とまちの過去・現在・未来をつなぐ契機として、千葉開府記念事業は重要な役割を果たしてきました。

そして現在、先人たちの礎のもと、本市は人口約98万人の首都圏有数の大都市へと発展を遂げました。一方、変化が激しく先行きが不透明な時代の中で、わたしたちは、自らが未来を切り拓いていく姿勢と行動を求められながら暮らし、活動しています。

このまちを開いた千葉一族は、動乱の時代に知力・胆力をもって挑戦し、自ら未来を切り拓き、持続的な都市経営を行いました。このチャレンジスピリットを、今を生きるわたしたちが受け継ぎ行動することを通じて、人とまちがともに輝く未来へとつなげていくことこそが、千葉開府900年の最も重要な意義であると言えます。

このような認識のもと、市民、団体、企業、大学、行政など多様な主体が、この歴史的節目を迎える喜びを分かち合うとともに、千葉一族からの学びを活かしながら記念事業を行い、開府1000年をも見据えつつ、次代を担う若い世代が千葉市に誇りを持ち、より豊かな未来につなげていくことができるよう、記念事業の基本的な考え方や体制、スケジュールなど、取組みの全体像を共有するため、「千葉開府900年記念事業推進計画(以下、「本計画」という。)」を策定します。

◆参考情報(QRコードを読み込んでいただくと、千葉氏についての情報を見ることができます)

- 千葉氏ポータルサイト



- まんが「千葉常胤公ものがたり」



- 千葉開府900年PR動画「千葉開府 月と星の伝説」



2. 基本理念・基本方針

ここでは、記念事業の実施にあたり通底する基本的な考え方として「基本理念」を、基本理念の実現に向けた行動原則として「基本方針」を定めます。

(1)基本理念

千葉一族からの学びを活かし、 未来へ向けたひとづくり、文化づくり

- 本市の開祖である千葉一族の軌跡を改めて振り返り、得られた学びを共有します。
- 千葉一族の「未来を切り拓くチャレンジスピリット」を受け継ぎ、市民とまちのより豊かな未来の実現に向けた取組みを行います。
- 市民一人ひとりが、年齢・性別・国籍・障害の有無などにかかわらず、多様性を認め合いながら、自分らしく活躍できる社会を実現することが重要です。一方で、自ら未来を切り拓くためには、主体的な学びと成長が必要となっています。そのため、子どもや若者をはじめとする市民の主体的な学びと成長を支える機会や環境を充実させ、市民が活躍し、新たな価値が生まれるまちの実現につなげる機会とします。
- 成熟した大都市として、市民が芸術やスポーツなど、様々な文化に親しむ機会を創出し、市民の創造的な暮らしを支えるとともに、まちの文化的な薫りを醸成する機会とします。
- 多様な主体が様々な側面からひとづくりと文化づくりにかかわることを通じて、より創造的で充実した暮らしとともに、中長期的な地域社会や社会経済活動の活性化につながっていくことを志向します。

(2)基本方針

- ア 千葉市に関わるすべての市民・団体・企業等を主体とします。
- イ 千葉一族の「未来を切り拓くチャレンジスピリット」を受け継ぎ、未来の豊かな地域社会の実現に向けて取組みます。
- ウ 個人の個性や能力を尊重するとともに、多様性を認め合い、必要に応じて柔軟に連携しながら取組みます。
- エ 100年先の開府1000年に豊かな郷土・千葉市を引き継げるよう、取組みにあたっては、環境負荷の低減など、持続可能性に配慮します。

3. 記念期間等

(1) 記念期間

- 令和8(2026)年4月1日～令和9(2027)年3月31日
- 大治元(1126)年6月1日に千葉常重が現在の中央区亥鼻付近に本拠地を移してから900年にあたる令和8(2026)年度を記念期間とします。

(2) 先行期間

- 令和7(2025)年4月1日～令和8(2026)年3月31日
- 記念期間に向けて、一層の機運醸成を図るとともに、一部の記念事業について、先行的に実施する期間とします。

4. 実施体制

(1) 全体像

- 千葉市のほか、市内市民団体・経済団体・学術団体等の民間団体により組織される協議会(令和5年11月14日設立)により、官民あげて記念事業を推進します。
- 多様な主体の参画を促すため、協議会にメンバーシップ制度を設けます。

(2) 千葉開府900年記念協議会

ア. 役割

- 推進計画の策定
- 協議会が主催する記念事業の実施
- 構成団体間の情報共有及び連携促進
- 構成団体以外の市民・団体・企業等が主催する事業の認証及び参画の促進

イ. 専門部会

- 協議会の構成団体同士の議論や活動をより効果的なものとするための仕組みとして、必要に応じて設置できるものとします。

ウ. 千葉開府900年記念協議会 構成団体

No.	団体名	No.	団体名
1	千葉市	12	公益財団法人千葉市スポーツ協会
2	千葉県警察千葉市警察部	13	千葉市民生委員児童委員協議会
3	国立大学法人千葉大学	14	社会福祉法人千葉市社会福祉協議会
4	千葉商工会議所	15	千葉市青少年育成委員会
5	一般社団法人千葉県経営者協会	16	公益財団法人千葉市教育振興財団
6	千葉県経済同友会	17	東日本旅客鉄道株式会社千葉支社
7	千葉市商店街連合会	18	千葉みらい農業協同組合
8	公益社団法人千葉市観光協会	19	千葉テレビ放送株式会社
9	千葉市町内自治会連絡協議会	20	株式会社千葉日報社
10	千葉市を美しくする会	21	日本放送協会千葉放送局
11	千葉市文化連盟	22	株式会社ベイエフエム

(3) メンバーシップ制度

協議会構成団体以外の市民、団体、企業等が幅広く記念事業に参画できるよう、多様な参画手段を提供する仕組みとして、協議会の機能としてメンバーシップ制度を設けます。

参画の形態	メンバーシップ制度
1. 記念事業を自ら実施したい	<ul style="list-style-type: none">■ 記念事業の認証を行います。• 民間団体等(協議会構成団体を除く)を対象に、協議会が記念事業として認証します。• 認証事業には、公式ロゴとキャッチコピーの使用許可、PRグッズ提供、公式HPやSNSへの掲載などを行います。
2. 記念事業に協賛・寄付(金銭・物品)をしたい	<ul style="list-style-type: none">■ 協議会主催事業について受け付けます。※上記以外の記念事業への協賛・寄付については、各実施主体で受け付けます。
3. 記念事業を観覧したい、スタッフとして参加したい。	<ul style="list-style-type: none">■ 公式HPやSNSによる情報発信を行います。• 記念事業の内容やスケジュール、スタッフ募集などに関する情報発信を行います。

5. 事業計画 ※令和6年度～令和8年度の事業計画について

(1) 主な取組みのスケジュール

		令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)
		準備期間	先行期間	記念期間
機運醸成	ロゴマーク キャッチコピー	公募・選定 1月頃～	使用開始	
	各種プロモーション	・ 開府900年記念の認知度向上 ・ 参画促進のためのPR	・ 開府900年記念の認知度向上 ・ 参画促進のためのPR ・ 記念事業のPR	・ 参画促進のためのPR ・ 記念事業のPR
記念事業 (協議会及び 構成団体)	記念式典など	・ 6月1日 ・ 開府の日機運醸成イベント	・ 6月1日 ・ 開府の日機運醸成イベント	・ 6月1日 ・ 開府の日記念式典
	記念事業の 募集・実施	・ 募集開始 (ロゴ完成後)	・ 記念事業実施	・ 記念事業実施
記念商品		・ 募集開始 (ロゴ完成後)	・ 記念商品販売	
メンバーシップ 制度	記念事業 (構成団体以外) の認証		・ 認証(ロゴ完成後)	
	協賛金・寄付		・ 受付	
	情報発信		・ HPやSNS	

(2) 主な取組み

ア 機運醸成及びブランディング

(ア) ロゴマーク・キャッチコピー

- ・ 市民等の参加による公募・選定により、令和6(2024)年秋頃を目途に完成させる予定です。
- ・ 記念期間にあわせて広報物や記念商品に使用するため、完成後は使用者にデータを無償提供します。

(イ) 各種プロモーション

- ・ 年度毎の段階的なプロモーションにより、市民や市内事業者をはじめ幅広く多くの皆様を対象として、開府900年に対する認知度向上や郷土への愛着の醸成、記念事業への参加を促すためのプロモーションを実施します。

イ 記念式典・オープニングイベント

- ・千葉常重が亥鼻付近に本拠地を移してから900年にあたる令和8(2026)年6月に、開府900年を記念する式典及びオープニングイベントを行います。

ウ 祝祭イベント

- ・令和8(2026)年度に、歴史的節目を迎える喜びを分かち合い、祝うイベントを行います。時期や開催方法、具体的な内容は今後検討します。

※開府850年を機に始まった親子三代夏祭りについては、開府900年にむけて主催者と協議しながら、充実を図ります。

エ 記念事業

(ア) 対象となる事業

- ・千葉開府900年推進計画の趣旨に合致するもので、令和7年度～令和8年度に実施する事業。協議会及び協議会構成団体によるもののほか、協議会が認証する事業も含まれます。

(イ) 対象エリア

- ・市内全域

(ウ) 募集

- ・令和6年秋頃にロゴマークが完成次第、対象となる事業を募集します。
- ・令和9年度以降も継続的に実施する事業も積極的に募集します。

(エ) 主な支援内容

- ・開府900年記念の公式HPやSNSに掲載
- ・ロゴマーク・キャッチコピーの使用許可
- ・のぼり旗などPRグッズ提供 など

オ 記念商品

(ア) 対象となる商品

- ・商品自体やパッケージなど何らかの形で開府900年を記念する商品であることがわかるもので、令和7年度～8年度に販売する商品。

(イ) 募集

- ・令和6年秋頃にロゴマーク・キャッチコピーが完成次第、対象となる商品を募集します。

(ウ) 主な支援内容

- 開府900年記念の公式HPやSNSに掲載
- ロゴマーク・キャッチコピーの使用許可
- 販路となる事業者等への紹介 など

カ メンバーシップ制度

(ア) 記念事業(構成団体以外)の認証

(イ) 記念事業(協議会及び構成団体)に対する協賛金・寄付金等及び物品の寄付の受付

(ウ) 公式HPやSNSによる情報発信(記念事業の内容やスケジュール等)

(3) 開府900年記念事業一覧【別冊】



『千葉開府900年記念事業推進計画』

(発行) 千葉開府900年記念協議会
(事務局) 千葉市 総合政策局 総合政策部 都市アイデンティティ推進課
電話 043-245-5660
Email kaifu900th@city.chiba.lg.jp